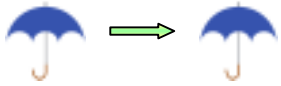

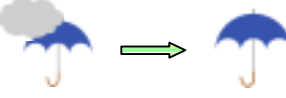

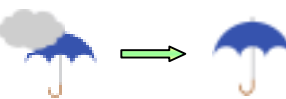

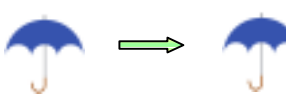

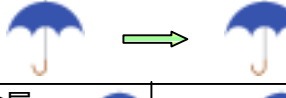





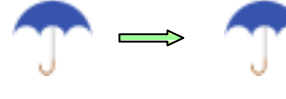












【産業動向概要】

<p>産業全体</p> 	<p>09年11月を中心とした県内経済は、輸出が引き続き減少傾向にあり、生産活動も低迷している。自動車新規登録台数の回復など明るい兆しはあるものの、大型小売店販売額・新設住宅着工などは減少し、個人消費は依然低調に推移している。このような環境下、雇用・所得環境は冷え込んだ状態が続いている。県内経済は一部に持ち直しの動きはあるものの、引き続き厳しい状況にある。</p>
--	---









































<p>観光・旅館業</p>			<p>伊豆地区の秋季の宿泊状況は売上・宿泊客数とも低調に推移。年末年始の予約状況もやや厳しい。また12月中旬の地震により、伊東・熱海地域を中心に予約キャンセルが発生しており、今後の影響が懸念される。</p>
<p>紙類</p>			<p>家庭紙の原料古紙の価格は比較的安定。家庭紙価格は低下傾向が続き、特に県内メーカーが生産する再生紙物の販売環境は厳しさを増している。</p>
<p>水産業</p>			<p>静岡県主要漁港の水揚量は、マグロ類やカツオ類の増加により約2割増加。一方魚価は、需要低迷による過剰在庫や円高による輸入品の値下りの影響で低下し、総水揚高は前年比1割減。</p>
<p>一般機械（主要）</p>			<p>金属工作機械は12ヵ月連続で前年割れとなり、先行きは厳しいと予想。金型も10月に3ヵ月ぶりに減少に転じ、先行きは不透明。パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械もマイナス幅が拡大。</p>
<p>木材</p>			<p>県内新設住宅着工は依然前年割れが続き、今後の見通しも当面厳しいものと予想。製材品県内生産量は5期連続で前年比2桁の減少が継続。製材用素材価格は、市況の低迷に対応して伐採を手控えた影響で上昇基調にあったが、出荷量の増加と円高を背景に、一転して下落基調。</p>
<p>缶詰</p>			<p>水産缶はレトルト商品などの競合食品に押され前年比減少となるが、今後新型インフルエンザに対する備蓄用としての需要増に期待。野菜缶・果物缶は原料価格の安定により前年比微増。飲料缶類はコーヒー缶が好調であるものの前年と同水準。</p>
<p>楽器</p>			<p>主力のピアノ、電気・電子楽器類ともに、輸出の落ち込みが激しく、生産台数、販売台数は前年実績を大幅に下回る。9月以降、生産調整を本格的にはじめたピアノは、47年ぶりに年間生産量が10万台を下回ることが確実となった。</p>

輸 送 用 機 器		 → 	遠州地域の二輪車生産台数は、国内向け、輸出向けともに大幅に減少。一方、県内の自動車部品生産金額はエコカー減税効果などで、減少幅が縮小してきている。しかし、今後も新車購入支援策終了後の需要減や円高など、部品メーカーにとって不安材料は多い。
		二輪車  自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	07/7 (07/12)	08/1 (08/3)	08/4 (08/6)	08/7 (08/9)	08/10 (08/12)	09/1 (09/3)	09/4 (09/6)	09/7 (09/9)	09/10 (09/12)
概況 		→				→			
観光・旅館業 						→			
紙類 		→			→				
水産 		→			→		→		
一般機械(主要) 		→							→
木材 		→							
缶詰 		→			→				
楽器 		→					→		→
輸送用機器 			→				→		